

## 小型多目的中性子回折計（B-3 実験孔）

### 1. 概要

モノクロメータ（Cu 単結晶（220）面）によって単色化した中性子（波長：1.006 Å）を利用して中性子回折を行うことができる装置である。検出器は<sup>3</sup>He ガス検出器を使用している。

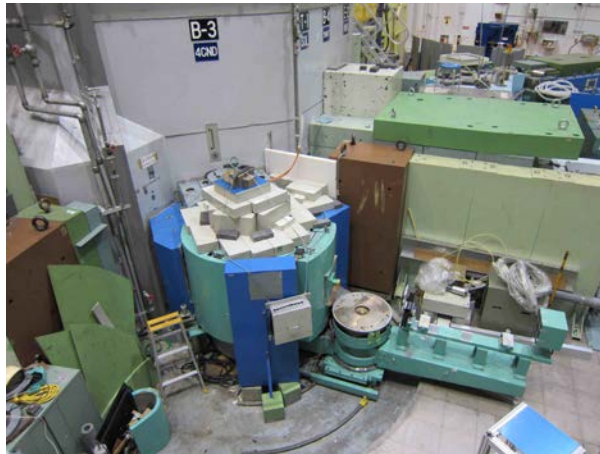


図 1. B-3 実験孔

### 2. 特性

表 1

モノクロメータの種類	Cu 単結晶 (220)面
中性子の波長	1.006 Å
中性子ビーム照射面積	20×20 mm <sup>2</sup>
試料位置での中性子ビーム強度	10 <sup>5</sup> n/s·cm <sup>2</sup> (5MW 運転時)
検出器の種類	<sup>3</sup> He ガス検出器

### 3. 条件

- ・ 試料が粉末状の場合、バナジウム試料ホルダーを使用する。
- ・ 試料が液体状の場合、事前に相談すること。
- ・ 測定温度は室温のみとする。

### 4. 操作者

試料の取付け、下流側ビームシャッター（モノクロメータから下流側）の開閉および試料の取外しについては所員、共同利用者ともに行うことができる。ただし、実験後、試料の線量が高い場合については、所員が試料の取外しを行う。

## 5. 異常時の処置

測定中に異常が生じた場合は、以下のように対処すること。

- i) 下流側ビームシャッターを閉じる。
- ii) 装置担当者（吉野）に連絡する。

## 6. 設置場所

原子炉棟炉室 B-3

## 7. 提出書類

必須書類：実験・出張計画書、KUR 実験記録、管理区域立入願、常時(臨時)立入者証交付願

## 8. 装置担当者

吉野泰史(2498)

## 9. その他

初めてご利用される場合は、事前に保安教育を受講してください（年2回開催）。